

# 1期生80人の力作紹介

大阪電通大  
建築学科  
あすまで合同卒業展



大阪電気通信大学工学部  
建築学科は2日、大阪市中央公会堂（北区）で合同卒業制作展2021「点描」（協賛＝総合資格学院）を開幕した。写真。オンラインも併用。同学科の卒業展は初開催となる。同学科1期生の4年生20人が設計作

品、60人が論文を出展。設計作品は模型とパネルで表現し、論文も概要を記載したパネルを展示。1～3年生の選抜作品や課外活動の成果を紹介するコーナーも設けた。会期は5日まで。

いずれの4年生もコロナ禍で大学での講義が限られ、オンラインも併用する中で卒業制作に取り組んだ。北澤誠男准教授は「初めてのことで、開催できたことがとてもうれしい。コロナ禍で作品や論文に向き合う自由な時間を確保できたようで、それは想定外だった。制作展を初めてつくり上げる過程で、学生の新たなポテンシャルが引き出されたと感じることが多かった」と語る。

学科教員による卒業研究選抜作品を選出する審査会

は1月24、25日に行った。選抜作品を制作した学生を3月19日の卒業式で表彰する。

設計卒業研究選抜作品と作成者は次の通り。敬称略。

▽「次の街Shijounawatate Hightower and Smart Center 四條畷・田原フロンティア計画」―森島真一朗▽「古都の水源地木屋町における高瀬川舟入の再生と水辺空間の創出」―千葉智広▽「mobile商店街 地域から都市に浸透する商店街」―安部誉人▽「新種のヴァネキユラー建築 生活様式による帰納的建築から新時代への昇華」―高橋侑里▽「IF建築 大阪京橋地区における都市開発と新たな商業施設の在り方」―武田剛▽「One and only 塩ビパイプによる新たな建築」―西村磨世▽「なぜ？を見つげる場所 これからの未来を見つけ出すサテライト行政区役所と図書館の複合施設」―松本康平。